



JAL不当解雇撤回ニュース

No613号 2020.12.01
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

超党派の有志議員が
厚労省ヒアリングに続き

11月26日
衆議院第一議員会館

日本航空にヒアリング実施

11月19日に行われた超党派の有志議員による「厚労省のヒアリング」に引き続き、11月26日にはJALからのヒアリングが行われました。当日も委員会等でご多忙な中、有志議員11名（代理出席3名含）が出席しましたが、JALからは社長や役員の出席はなく、人財戦略部マネージャー、客乗担当、事務方の3名が出席しました。冒頭15分間JALが映像で「破綻と再生」の経過を説明し、その後、各議員から10年間争議解決していないことへの率直な質問が出されました。



出席議員

立憲民主党	福田昭夫議員、矢上雅義議員 真山勇一議員(参議院)
日本共産党	穀田恵二議員、山添拓議員(参議院)
自由民主党	山本朋広議員
無所属	芳賀道也議員(参議院)

<議員の代理出席>

自由民主党	江崎鐵磨秘書
立憲民主党	屋良朝博秘書
日本共産党	高橋千鶴子秘書
沖縄の風	高良鉄美秘書

議員から出された主な質問・意見

- ◆争議が長引いているのは何故なのか。
- ◆大晦日の解雇などは特別なやり方だ。特別に行ったものは特別に戻すべきだ。
- ◆解雇の必要性があったか、疑問だ。どう解決するつもりか。
- ◆乗務職にも拘わらず、地上職だけの採用はおかしい。復職させる気持ちがないのか。雇用を大切というなら全員戻せば良い。
- ◆なぜ復職に採用試験が必要なのか。優先的再雇用をすべきではないか。
- ◆解決に向けて合致点があるはずだ。解決は会社にとっても良いことだ。

出席議員は、「JAL争議の解決に向けて、再度ヒアリングを要請していく」ことを確認しました。

